

# 大 津 潮



千葉県助産師会

第 41 号 令和 5 年 7 月

## 1. 会長挨拶

(一社)千葉県助産師会 会長 武田 智子 4 地区 八千代マタニティーセンター武田助産院

令和 5 年度一般社団法人千葉県助産師会通常総会は、今年もオンラインにおいて事業計画及び予算案に賛成いただき事業の推進が出来るようになりましたこと誠に感謝いたします。総会后アンケートにおいても、おおむね好評価をいただきましたが、課題もあり次年度に改善いたします。

また、2023 年度 第 96 回日本助産師会通常総会も 5 月 26 日にすべての議案について無事可決したことをご報告いたします。

政府はコロナ禍の影響も少なからずある 2021 年度出生数 81 万 1622 人、2022 年度 77 万 747 人となり出生率 1.26 と落ち込み「次元の異なる少子化対策」を公表し、財源を投入しています。このような状況下、組織強化と情報共有が必要な時です。各地区の情報を速やかに提示していただくことで、助産師会は組織として行動しやすくなります。今後は、分娩費用の保険適用化問題、産前産後ケア事業のさらなる推進、訪問看護ステーションの検討などが課題となります。専門職団体として地域、行政機関、他の医療機関、支援団体等との連携が必要となっています。皆様のご協力と、日頃のご尽力の継続をどうぞよろしくお願いいたします。



東金市と災害時における妊産婦等への応急救護活動及び支援等に関する協定締結式にて  
武田智子会長と鹿間陸郎市長

CONTENTS		
1. 会長挨拶	.....	1
2. 通常総会	.....	2
3. 理事・監事・委員一覧	.....	3
4. 国際助産師の日のつどい	.....	4
5. 災害対策委員会	.....	5
6. 子育て委員会	.....	6
7. 教育委員会	.....	6
8. 表彰	.....	7
9. おしらせ・編集後記	.....	8

## 2. 令和5年度 一般社団法人千葉県助産師会通常総会

(一社)千葉県助産師会 副会長 増田 美恵子 2地区 順天堂大学医療看護学部

令和5年度の一般社団法人千葉県助産師会通常総会は、4月29日(土)にオンラインにて開催しました。

コロナ禍となってから、通常総会は書面表決、ハイブリッド開催、オンライン開催と、コロナ前のような対面での総会が開催できない状況が続きました。昨年の夏から冬にかけては、新型コロナウイルス感染の第7波、第8波があり、その後の感染拡大について予測できない状況でした。そのような中、理事会で審議した結果、今年度もオンラインで総会を開催することになりました。昨年同様、議長、司会、会長、副会長、財務担当理事が千葉県助産師会の事務所で参加し、会員の皆様にはオンラインでご参加いただくことになりました。

当日は、56名の方にオンライン参加していただきました。また、76名の方が議決権を行使され、118名の方から委任状をいただき、総会を無事に開催することができました。ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

総会での審議の結果、以下のすべての議案について可決されました。

### 【審議事項】

- 第1号議案 令和4年度 活動報告
- 第2号議案 令和4年度 収支決算報告  
および監査報告
- 第3号議案 令和5年度 事業計画(案)
- 第4号議案 令和5年度 収支予算(案)
- 第5号議案 定款改正



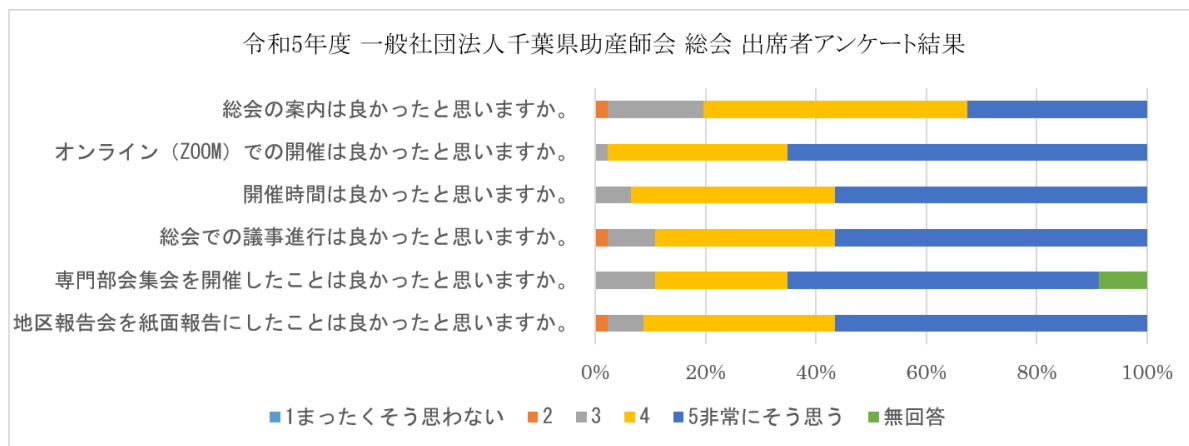
司会の石井様、議長の大谷様とともに事務所で総会後に撮影

なお、第2号議案と第4号議案の資料は、別冊として大潮に同封しますので、ご確認をお願いいたします。改正後の定款は、千葉県助産師会のホームページに掲載しております。

総会終了後には、今年もZOOMのブレイクアウトルームで専門部会集会を開催しました。今年は昨年よりも部会集会の時間を長くすることができたので、各部会での交流も深まったのではないのでしょうか。

総会後のアンケートでは、46名の方が回答してくださいました。総会の案内、オンライン(ZOOM)開催、開催時間、議事進行、専門部会集会、地区報告会について質問したところ、グラフの通り、どの質問にも8割以上の方から肯定的な評価をいただきました。「写真の紹介は良かった」「採決の仕方がスムーズでよかった」「ZOOMだと意見が出にくいのが残念だが、参加しやすい」等のご意見もいただきました。今後の総会運営の参考とさせていただきます。

来年度の総会は、令和6年4月28日(日)に千葉市文化センターでの開催を予定しております。来年は、久しぶりに会場で皆様にお会いできることを楽しみにしております。



### 3. 令和5年度 理事・監事・委員一覧

☆理事 ◎部会長・委員長

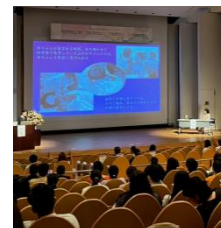
役職		氏名	役職		氏名
	代表理事(会長)	☆武田智子		広報委員会	◎齋藤明子
	業務執行理事(副会長)	☆増田美恵子			佐藤静子
		☆佐藤美保子	佐藤幸江		
専門部会	助産所部会	☆◎小柴和子	委員会		安全対策委員会
		米丸充咲		◎清水清美	
		進藤典子		小柴和子	
	保健指導部会	☆◎來田美鈴		來田美鈴	
		小椋利絵		山中真弓	
		遠藤隆子		吉岡由紀子	
		神崎雅子		的場晴美	
	勤務助産師部会	☆◎山中真弓		災害対策委員	
		岸本優子			金子真理恵
		小野寺由美子			鈴木香理
		大久保洋子			西宮慎子
	地区部会	1地区		☆加藤睦	災害対策委員会
2地区		☆増田文子	嶋岡由香		
3地区		☆田村陽子	水野由香子		
4地区		☆金子みゆき	伊東千佳子		
5地区		☆佐々木明代	石毛光代		
6地区		☆石毛光代	進藤延江		
7地区		☆菅谷厚子	進藤典子		
9地区		☆根岸雄子	◎清水清美		
監事	内部監事	足立千賀子	子育て委員会	石毛光代	
	外部監事	川合淳一		小野裕子	
会計	財務担当理事	☆吉田広美		石井恵美子	
		椿由美子	国際助産師の日	◎渡邊佐智子	
庶務		遠藤敏子	将来構想検討委員会	◎武田智子	
	総務担当理事	☆小野裕子	細則検討委員会	◎武田智子	
	公文書担当	鈴木由香子	組織強化委員会	◎武田智子	
	事業部担当	安達桃子	生と性の健康教育委員会	◎小路和子	
HP・ML担当	野本朋子	増田文子			
書記	岩本友恵	伊藤志保			
	大野祐子	鶴岡利江子			
委員会	教育委員会	☆◎山田万希子		狛千恵子	
		片桐いずみ		斉藤葉子	
		玉野あや乃		川島広江	
		古賀千恵子		根岸雄子	
		石井恵美子			
		五十部 恵			



## 4. 第19回 国際助産師の日のつどい in 千葉

国際助産師の日のつどい実行委員長 渡邊 佐智子 7地区 まんまる助産院(出張専門)

第19回 国際助産師の日のつどい in 千葉が、令和5年6月4日に千葉市の生涯学習センターに於いて開催されました。前日の大荒れの天気が嘘のような晴天に恵まれました。コロナが5類になり、久しぶりの対面での開催となったためか、申し込みの時点で当初予定していた人数の100名を大幅に超え、急遽座席数を増やしての大盛況で、当日の参加人数は、お子さんも含め、151名でした。また助産師ばかりではなく、一般のママやご家族、保健師や学生などの参加も多かった会となりました。



今回、「今だからこそつながりたい つながりたい いのちの力」をテーマとした基調講演とシンポジウムにしました。このテーマに至る過程においては、東日本大震災が起きた2011年(平成23年)に千葉市助産師会が担当した、自然分娩を通した“いのち”についての内容を踏襲しつつ、コロナの大流行や、世界情勢などで変わってきた社会の中での“いのち”を再度見つめ直そうということが軸となりました。また昨今麻酔分娩を取り扱う施設も年々増加傾向にあり、私達助産師もお産のカタチが変化してきていることを日々実感しており、開催地区として、私達助産師が改めて助産師という矜持を持つ機会にしたいとの気持ちもありました。



武田会長の開会のあいさつの後、「共に歩み寄り添う～妊娠期から育む 産む・育てる力～」というテーマで菅谷助産師の基調講演が始まりました。菅谷助産師が自宅出産の支援をしてきたママと赤ちゃんの数々の写真と共に、妊娠期から、丁寧な関りの中で「女性の産む力」「赤ちゃんの生まれる力」を信じ、「待つ」ことを大切にし、自然性を尊重するお産を紹介してくれた内容でした。母子の温かい、穏やかな時間と空間に包まれた写真を紹介して頂き涙ぐむ参加者が大勢いました。菅谷助産師に支援してもらっていたママが挙手して下さり、実際の感想を聞くことが出来ました。ママの言葉から、助産師の丁寧な関りがいかに重要かを私たち助産師も改めて認識させられました。この講演で、「現在の自分のケアで行き届いていなかったことを見直した」との勤務助産師からの感想もありました。

シンポジウムでは、千葉市助産師会と連携している学会会木村病院の臨床心理士の後藤美智子先生から「周産期メンタルヘルス支援の現場からー助産師と精神科と新たに作る応援体制ー」というテーマでお話し頂きました。千葉市助産師会と連携した訪問をはじめ、協働から生まれた精神科病院での妊娠期の両親学級の事業などまさに「つながる」ことの重要性をご講演頂きました。



産後ケアを利用した母親の村野麻湖さんからは、「困った時はスマホ検索より助産師さんに」というテーマで助産師とつながったことで育児の伴走者ができたことのお話を聞くことが出来ました。助産師の存在アピールの問題点も浮き彫りになりました。

養護教諭の菅原先生には、「生徒と助産師との協働による思春期教室」というテーマで単に性のことばかりではなく生徒自身が、自分を見つめ直す機会につながったという協働体験からのご講演を頂きました。

最後は長年千葉市職員として従事された保健師の窪田和子さんより「女性の生涯の健康支援の担い手としてー地域保健との協働ー」のテーマでお話し頂きました。実際のケースから、始まっていった千葉市助産師会との協働、委託事業の経緯なども詳しくお聞きできました。

助産師の熱量がホール全体に包まれながら、増田副会長の閉会の言葉で会は無事終了致しました。

会の終了後、ホワイエで参加者と演者、シンポジストが和やかに歓談している様子が見られました。

今回の会の開催におきましては、千葉県、千葉市、千葉市教育委員会をはじめ、職能団体の皆様様の温かいご協力ご支援を頂きましたこと、千葉県助産師会の皆様、千葉市助産師会の協力員の皆様のご協力を深謝いたします。

## 5. 災害対策委員会

災害対策委員会委員長 塩見 良子 2 地区

### 東金市:災害時における妊産婦等への応急救護活動及び支援等に関する協定



4月25日、東金市と「災害時における妊産婦等への応急救護活動及び支援等に関する協定」の締結式を行いました。オンラインにて各部署との打ち合わせを行いながら進め、協定書の確認をし、無事に締結できましたことに感謝申し上げます。

締結式は、東金市役所にて東金市の鹿間陸郎市長をはじめ、市民福祉部長、健康増進課長、消防防災課長、事務局の皆様にお集まりいただきました。千葉県助産師会から、武田智子会長、佐藤美保子副会長、小野裕子理事、石毛光代 6 地区部会長、災害対策委員長塩見が出席してきました。鹿間東金市長からは、「市内で災害が発生した際に、助産師会の方々に妊産婦等の支援をしてもらえることで市民はとて安心できると思います」とのお言葉をいただき、引き締まる思いでした。災害時には、しっかりと対応できるよう準備をしていきたいと思っております。

これで、協定市が 11 市となりました。現在締結に向けて話し合いを行なっている所もあります。近い将来、大規模災害が起こるといわれており、災害時には協定市からの依頼が複数になることも予想されます。マンパワー不足で母子の支援に行けない、ということにならないよう、皆様の力をお借りできることを願っています。ぜひ、災害時協力助産院・災害時支援協力員の登録をお願いいたします。ご協力くださる方は、各地区の災害対策委員にいつでもお申し付けください。

今後いつでも災害に対応できるよう、今年度も各地区の防災訓練、県の防災訓練、災害時初動動作シミュレーション訓練等を行う予定です。皆様、積極的にご参加くださいますようよろしくお願いいたします。



私たちは、働く皆さまを  
「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について  
詳しくはこちらをご覧ください



東洋羽毛北関東販売株式会社 千葉営業所  
〒285-0815 千葉県佐倉市城354-8 0120-006-745

## 6. 子育て委員会

子育て委員会委員長 清水 清美 6 地区 城西国際大学看護学部

4 月より委員長を拝命しました清水です。リマインドメール、転送作業、報告の集計等、はじめて裏方を担当し、子育て委員会の役割の大切さは十分理解しているものの、裏方を地区で担当する大変さと責任をひしひしと感じております。

さて、4 月 3 日から 5 月 24 日の電話状況ですが、全くない日もあれば、多い日は 7 件、平均 3.3 件の相談がありました。相談内容は、多い順に、授乳・離乳 42 件、子育て・育児不安 21 件、子どもの発育 20 件、母親の心身 18 件、妊娠・出産 5 件・・・特に母親の心身においては、精神疾患や育児困難感、さらに夫との関係等、一筋縄では解決できない相談も多く、相談担当者自身のケアも重要と感じました。

そこで、定例ではありますが、7 月 23 日 10:00～11:30、担当者同士の情報交換、特にリピーター事例についての共有を目的に交流会(ZOOM 会議)を企画しました。相談員の皆様そして次年度電話相談員を検討されている方にも是非参加いただきたく、よろしくお願いいたします。詳細は、千葉県助産師会のメーリングリストおよび HP に掲載します。

## 7. 教育委員会

教育委員会委員長 山田 万希子 6 地区 城西国際大学看護学部

### 【ご挨拶】

今年度、教育委員会は年間目標として 3 つの目標を挙げています。1. 助産師の継続教育として必要な研修会を開催する 2. 社会状況に対応可能な研修会の年間計画を立案・実施する 3. 遠隔による効果的な委員会活動を実施することを目標としています。数年続いているコロナ感染症は、今年 5 月 8 日より「5 類感染症」に位置づけられました。コロナ禍で行われた研修会は感染予防を考慮し、多くの工夫をして進められました。コロナ禍においても開催してきた研修会から学んだことを活かして、これからも多くの会員の皆様が参加しやすい有意義な研修会を数多く計画・実施していきたいと考えています。教育委員一同、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【地区報告会】

2021 年度は、5 地区(印旛)、6 地区(香取・海匝・山武)、7 地区(千葉)、9 地区(市原・君津・安房)の代表にご報告をしていただきました。郵送にて抄録集をお送りし、報告という形式を取らせていただきました。地区報告会の意義は、日々の会員活動を共有することにあります。また、会員同士が相互に意見交換ができる「場」でもありますが、今回も「場」における報告会は実施できませんでした。抄録集にまとめられた各地区の報告をご覧いただき、今後の活動に繋げていただきたいと思います。また、ここに 2022 年度の活動報告のテーマを掲載させていただきました。コロナ禍における地区活動や継続されている活動などが報告されています。是非、お手元の抄録集をご覧ください。

### 2022 年度(令和 4 年度) 活動報告テーマ

地区	テーマ
1 地区(柏・野田・我孫子・流山・松戸)	乳幼児および思春期前の子どもと保護者へのセクシュアリティ教育
2 地区(市川・浦安)	地域情報 Web サイトの『助産師何でも相談』連載企画への取り組み
3 地区(船橋)	コロナ禍の訪問を通して感じたこと
4 地区(習志野・八千代・鎌ヶ谷)	2021 年度助産師の電話無料相談事業活動報告

地区報告会は、2012 年(平成 24 年)より学会形式で発表していただいております。そのため、担当される地区の皆様には、準備で大変ご苦勞をおかけしております。今回も抄録での発表となりますが、各地区の皆様のご活躍や新たな試みを知り、千葉県全体で助産師会活動を活発に、助産師のケアの質向上の一助となることに繋げていきたいと思っております。地区報告会は有意義なものとして今後も継続していきたいと考えています。今後もよろしくお願いいたします。



## 8. 表彰

### 公益財団法人 日本助産師会名誉会員 増子恵美子様 9 地区

(公社)日本助産師会第96回通常総会において名誉会員(80号)の認証をいただきました。身に余る光栄を受け、感謝いたします。コロナ下での対面開催で制限はありましたが、全国の会員が集い助産師パワーを感じました。(公社)日本助産師会の職員の皆様、関係機関の皆様の配慮、ご苦勞に心よりお礼申し上げます。

私は助産業務を7~8年間、育休後は地域(木更津市、君津市、富津市)の母子保健業務に42年余り関わりました。その間多くの妊産婦、新生児、乳幼児と出会い、何の問題もなくスムーズに保健指導業務をさせていただき、77歳の時体調不良のため退職しました。日本助産師会千葉県支部では先輩達に指導を受け、平成10年以降は県の会計、副支部長、監事(地区長兼務)として15年間を過ごしました。日本助産師会本部では13年余り保健指導部会委員として4名の仲間と無料電話相談や運営のお手伝いをさせていただきました。また岡本先生、長濱先生の指導を受け、長い間保健指導を続けることが出来ました。先輩たちの思いやり、優しさ、相手に寄り添う精神で今後も元気である限り、名誉会員としての自覚と誇りを持ち、地域でのボランティア活動を白いエプロンのおばあさんとして続けていくつもりです。(一社)千葉県助産師会の益々の発展を願い、お礼の言葉といたします。



### 公益財団法人 日本助産師会会長表彰 小柴和子様 9 地区

この度、日本助産師会会長表彰を頂ける事になりました。沢山の母達に学ばせて頂き、支えられ、先輩達や仲間達に励まされそして家族、夫、子供達のサポートがあったからこそ。助産という好きな道に辿り着く事の出来た私は、ラッキーだったと感謝しております。これからも、仲間達と学び、先輩達から受け継いだモノを繋ぎ精進してまいります。



### 公益財団法人 日本助産師会会長表彰 来田美鈴様より 2 地区

この度は、日本助産師会会長表彰へのご推薦頂きありがとうございます。私には、まだまだ身分不相応の賞ですが、助産師として歩んできた33年間の道のりを振り返ると、九州の離島で3人しかいない助産師の一人としてお産に没頭した2年間、東京の病院で母乳育児支援に邁進した19年間、東日本大震災直後に助産院を開業し、地域の助産師として歩んできた12年間と、年を重ねるごとに、助産師である事の意味と責任と楽しさを感じます。千葉県助産師会の皆様と出会えたことは私の大きな宝ものであり、これからも、母子の日常のすぐ側にいる助産師でありたいと思います。



### 公益財団法人 日本助産師会会長表彰 志村千鶴子様 9 地区

この度は、日本助産師会会長表彰という栄えある賞を賜り、心より御礼申し上げます。助産師として病院での臨床経験を経て、現在は亀田医療大学大学院で助産師教育に携わっています。日本は少子超高齢化社会となり、母子保健施策は少しずつ拡充されてきましたが、女性や家族にとって妊娠・出産・育児にはまだまだ困難が多い現状です。女性とパートナーシップを組み、女性と子ども、その家族の健康を支える助産師の育成に取り組み、助産師という専門職が後生に引き継がれていくように今後も助産師教育に専心してまいります。最後に、皆様のご健勝と日本助産師会ならびに千葉県助産師会の益々のご発展をご祈念して御礼の言葉とさせていただきます。





# お知らせ



## 1. 研修会について

※詳細は千葉県助産師会ホームページ ("http://www.midwife-chiba.org") にてご確認下さい。

開催日	時間	研修会名	場所	担当
7月23日(日)	10:00~11:30	交流会	ZOOM	子育て委員会
9月2日(土)	10:00~11:00	マタニティフィットネス体験会	ZOOM	教育委員会
10月8日(日)	10:00~11:30	第一部 妊娠と感染	千葉県教育会館	勤務助産師部会
	12:30~14:00	第二部 交流会	千葉県教育会館	勤務助産師部会
11月12日(日)	13:00~14:40	授乳支援	ZOOM	勤務助産師部会
11月23日(木)	13:30~15:30	「多様な親子のカタチー助産師の視点から学ぶ特別養子縁組制度と支援」	BASE 千葉会議室	保健指導部会
11月26日(日)	9:30~12:30	NCPR 講習 S コース (6名)	千葉市民会館	教育委員会
	13:30~16:30	NCPR 講習 S コース (6名)	千葉市民会館	教育委員会

## 2. 理事会の日程 (8月~11月)

	開催日	時間	場所	
第4回	9月3日(日)	9:30~12:30	千葉市民会館	
第5回	11月19日(日)	9:30~12:30	オンライン	

## 3. その他

- ・千葉県助産師会会員メーリングリストに加えて、6月から部会メーリングリストの運用を開始しました。メーリングリストの登録時に所属部会を連絡していただくことで、部会メーリングリストにも登録されます。メーリングリストの新規登録及び変更は、[info@midwife-chiba.org](mailto:info@midwife-chiba.org) までご連絡ください。
- ・総会冊子の別冊(収支決算報告、監査報告および収支予算)を同封しますので、ご確認ください。

### 【2023年度(令和5年度) 千葉県助産師会研修会】

千葉県助産師会ホームページに、研修会セミナーカレンダーを掲載させていただきました。開催方法は、オンライン開催、対面開催と内容に応じて対応しています。継続教育に関する研修会も多く計画しています。研修会に関する新しい情報は、随時、ホームページに掲載いたしますので、ご確認いただければ幸いです。皆様の多くのご参加をお待ちしております。

## 9. 編集後記

今年は「国際助産師の日のつどい」が対面で開催されました。予想を上回る151人の来場者があり、熱気溢れるつどいが大盛況のうちに行われました。PC やスマホの画面ではなく直接人と人が会って話を聞くことで、会場の活気を感じ取り、熱い想いが伝わり、たくさんの方々の心に残るものがあったと思います。素晴らしいつどいにご尽力くださった関係者の皆さまに感謝いたします。コロナは、私たちにオンラインでつながることを教えてくれ、また対面で人に会うことの良さを再認識させてくれました。これから徐々に対面での活動が再開されると思います。お母さんに寄り添う助産師の活動をお届けしていきたいと思ひます。

最後にお忙しい中執筆にご協力くださいました皆様に感謝いたします。

広報委員：齋藤明子・佐藤静子・佐藤幸江・原田奈美